

「大雨豪雨災害の支援活動」について

日本防災士会熊本県支部は、昨日、「大規模災害時の支援事業に関する協定書」を締結している赤十字飛行奉仕団熊本支隊と協力し、大雨豪雨災害に見舞われた岡山県に物資支援活動を実施しましたので、下記の通り報告致します。

記

1、支援日：平成30年7月10日（火）

熊本から岡山県岡南（こうなん）飛行場へ物資を空輸

フライトタイム：午後3：00～午後6：00頃

2、支援場所：岡南飛行場にて、岡山市消防航空隊、岡山市職員、日本防災士会岡山県の神田敬三支部長が物資を受け取り、ヘリポートに降ろした。その後、日本防災士会岡山県支部の村上浩司防災士が軽トラックに積み込み、岡山市南区役所を經由して、倉敷市真備町の避難所へ搬送。受け取ってもらった。

3、支援者：赤十字飛行奉仕団熊本支隊 新永 隆一隊長（パイロット）

NPO法人日本防災士会・熊本県支部 宮下 正一支部長

4、支援物資：バナナ 200本・ペットボトル（500ml）1,200本

5、支援理由：今回中国・四国・関西地区の未曾有の大雨洪水災害が発生したために、支援災害協定書を締結していることにより双方の代表者で協議した結果、セスナ機が着陸可能な場所を選択して、岡南空港の使用許可を頂いた。ただちに各支援業者に連絡して集配し、支援活動の運びとなりました。

このような支援活動は防災士会・熊本県支部と赤十字飛行奉仕団熊本支隊とのベンチャーボランティア活動は日本中で初めての支援であり、今後も自然災害が発生した時には、積極的に支援活動したいと考えています。

NPO法人日本防災士会・常任理事

九州ブロック支部連絡協議会・会長

熊本県支部・支部長 宮下 正一